

里山コモンズクラブ通信

2012 夏号

みなみやま

Satoyama Commons Club News MINAMIYAMA

NPO 南山の自然を守り育てる会

里山コモンズクラブ通信「みなみやま」はNPO法人南山の自然を守り育てる会の活動案内です。

http://www.ina-mina.com

●お問い合わせ先

発行・責任者

編集・責任者

090-6658-7611(梁川) / 090-3579-4537(坂本)

ホームページをリニューアルしました!



予てからの念願であった当会のホームページについて、リニューアルを実施しました。(旧ホームページについては作成後、かなりの年月が経過しており、プロに制作頂いた関係から更新情報についてタイムリーに実施できず、鮮度に疑問が残っていました。それと掲載情報が長期間固定化されており、掲載情報に変化がなく第三者からすると飽きのくるホームページとなっていました。そこでこれらの点を改善すべく(新ホームページ)をリニューアルする事としました。

NEROを活用する事で、ホームページ制作スキルのない人でもメンテナンスが可能となる。②写真等を都度、掲載する事でイベント案内や結果報告について、説得力と鮮度をアピール出来る。③会員専用サイトを作成した事で、パスワードをかけた事からセキュリティを強化した。掲載内容は定款、会員間のスケジュール調整、運営会議事録、意見コメント記入欄等を設けました。但、当ページは一部現在も工事中のものがありま

ホームページリンク先

http://ina-mina.com/index.html

梁川 貴司

～生き物コラム～ 秋の土ボタル

夏の風物詩、ホタルといえば黄緑色に点滅しながら水辺を飛び回る姿が想像されるだろう。ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメホタルなどはそうして成虫が光りながら飛行、互いのパートナーを見つける。けれど、同じ時期に笹藪やススキの葉などに、小さく動きの少ない光の点が止まっていることに気がつく人は少ないのではないか。この光は、実はクロマドボタルなどの幼虫が放つ光だ。クロマドボタルはヘイケボタルなどと異なり陸生のホタルで、水辺ではなく草むらなどで生息する。かつてはカタツムリなどの陸生の貝類のみを食べて成長すると思われていたが、最近の研究で貝類以外にも、小昆虫を捕獲したりガの幼虫など動物の体液を吸ったり、草の汁や樹液をなめるなどのさまざまな物から栄養をとることが確認されている。成虫になると、名前の由来となっている「窓」



が見える前胸と、幅広い上翅などをもった立派な姿に変態を果たす。しかし発光器はごく小さく、また主に昼行生となるため殆ど光らない。

それに対して幼虫は、ムカデの如き細長い体で飛ぶこともできず、もちろん生殖のためのパートナー探しも行わない。しかしそれにもかかわらず、その尾部先端の発光器はかなり離れた所からもよく見える光を灯し続ける。

なぜ光るのか、についてははっきりしたことはよく解らない。一つの考え方としては、光につられてやってくる小動物などを捕食するのに役立つのではないかとされている。

ともあれ、この幼虫は『土ボタル』『秋ボタル』などの別名を持ち、秋になっても(11月上旬)まだ見られる。夏のホタルが見られなくなった夕暮れ時、笹藪や草むらで秋のホタルを探してみるもの良い物かもしれない。(TS)

※参照HP:「陸生ホタル生態研究会」http://rikuseihotaru.jp/geppou010.pdf

雑記帳

家の近くで畑を借りています。今年の5月からの使用開始でした。それ以前にカゴのなかでジャガイモが芽をだしてしまいました。その皮を大きく厚めにむいて豆腐のパックの中に土と共にいれておきました。5月になって早速、畑に植え付けましたが、それを見ていた畑のベテランのおじさんが「そんなにイモができるの? 植えるのが早いか遅いかわからず収穫時期は同じだよ」とのこと。なるほどジャガイモは涼しい地方の作物なので気温が29℃を超えると枯れてしまうのです。周りを見渡すとすでに30cmに生長しているところもあります。これで無事に育つのかとても不安でした。しかし、私の心配をよそに順調に生長し紫色の可憐な花を咲かせ、やがて枯れていきました。掘ってみると子どものごぶし位のイモがざくざくと出てきました。よくがんばってこままで大きくなったとおしくなりました。植物と自然の偉大さを感じた時でもありました。(K)

**活動だより** 今後、会報で皆様へ3カ月前後の活動結果と活動予定を案内させていただきます。

◎活動結果

- 3/3(土) 日韓両生類シンポジウム/高幡不動 10時~16時30分 参加者1名
- 3/4(日) 総会・運営会/城山体験学習館14時~17時 参加者6名
- 3/18(日) 大鷹観察会8時~12時 参加者2名
- 3/25(日) サンショウウオ観察会/八王子 参加者5名、他4名
- 3/29(木) 大鷹観察会8時~12時 参加者1名
- 4/4(水) 大鷹観察会8時~12時 参加者1名
- 4/13(金) 大鷹観察報告(都庁) 参加者1名
- 4/15(日) 大鷹観察会 8時~12時 参加者2名
- 4/21(土) 大鷹観察会 8時~12時 参加者1名
- 4/28(土) 竹の子堀/南山 10時~13時 参加者35名
- 5/6(日) 大鷹観察会 8時~12時 参加者1名
- 5/20(日) バードウォッチング/南山 10時~12時 参加者30名
- 5/23(水) サンショウウオ観察会 10時~12時 参加者1名
- 5/28(月) 大鷹観察会 8時~12時 参加者1名
- 5/29(火) サンショウウオ観察会 10時~12時 参加者2名
- 6/1(金) 大鷹観察会 8時~12時 参加者1名
- 6/1(金) 大鷹観察報告(都庁) 参加者1名
- 6/8(金) サンショウウオ観察会 10時~12時 参加者1名
- 6/24(日) 大鷹観察会 8時~12時 参加者1名
- 6/29(金) サンショウウオ観察会 10時~12時 参加者1名
- 7/5(木) サンショウウオ観察会 10時~12時 参加者1名
- 7/9(月) 大鷹観察会 8時~12時 参加者1名
- 7/14(土) サンショウウオ観察会 10時~12時 参加者1名
- 7/21(土) ジャが芋ほり 14時~15時 参加者2名
- 7/22(日) 奥畑谷戸下草刈 10時~16時 参加者18名
- 7/29(日) 大鷹観察会 8時~12時 参加者1名
- 8/18(土) 奥畑谷戸下草刈 10時~16時 参加者15名
- 8/27(月) 大鷹観察報告(都庁) 参加者2名

●今後の活動予定

- 9/22(土) 奥畑谷戸下草刈 10時~16時
- 9/29(土) 新百合ヶ丘・まちづくり見学会 10時~12時
- 10/6(土) 木の実観察会/南山 10時~12時30分
- 10/20(土) 奥畑谷戸下草刈&デッキ作り 10時~16時
- 11/4(日) 芋ほり 午前中
- 11/17(土) 奥畑谷戸下草刈&デッキ作り 10時~16時
- 11/23(金) 自然保護シンポジウム 13時~17時
- 12/22(土) 奥畑谷戸下草刈&イベント 10時~16時

**使いながらつくろう奥畑谷戸公園 8月のご報告**

8月18日(日)10:00、遠くで雷鳴が聞こえている中集合した。今回は駒沢女子大の先生も交えて15名の参加でした。雷雨で荒れる天気予報で、出発予定時刻からポツポツと雨が降り始めた。遅れる参加者を待ちながら様子を見ていたが、雨がひどくなってくる模様なのでいったん組合事務所で雨宿りをすることにしました。ペレットグリルヒーター「きりんさん」を組み立てて、実際に使ってみようということになり、屋外の屋根付休憩スペースに移動、実際に設置して火を着けてみた。ヒーターに乗せたヤカンで沸かしたお湯でコーヒーを入れ味わった。10分程度で沸くほどの火力があることが分かった。急遽ソーセージも用意し焼いてみた。アルミファイルを敷き直接乗せた所では焦げてしまい、輻射熱を使える下の段に並べ焼いた。皆さんここでも火力の強さが実感として分かった。

雨も上がったので昼食は“見晴らしの丘”でとなり、残った参加者全員で登った。今回は雨のため、肉体労働は中止したが、駒沢大学の先生を交えて、公園作りの今後について集まったみんなと話し合いをすることができました。課題の方が多公園作りですが、まずはウッドデッキを作りながら試行錯誤で楽しみながら継続させていくことで、少しずつ認知してもらいことが大切だと思います。次回は9月22日(土)です。デッキの採寸作業と里山整備を行います。ぜひ参加願います!



ペレットグリルヒーター「きりんさん」登場!



雨上がりの現場で遅めのお昼を食べました。

**第1回奥畑ヴィレッジ説明会を実施しました。**

さる7月15日、第一回説明会を行いました。4日前の折込チラシ配布、前日の読売新聞に記事掲載等、直前での広報活動と3連休のなかで、いったい何名の方が来てくれるのだろうと心配しましたが、当日は10組の方が参加してくれました。コンセプトはほぼ了解してくれて、より具体的な質問が飛び交いました。第2回説明会は9月17日(月/祝)を予定しています。

第2回奥畑ヴィレッジ説明会のお問い合わせは坂本まで(090-3579-4537)

**里山保全活動やオオタカ、サンショウウオの調査など、会員と一緒に活動しませんか?**

**会員の皆様のお知り合いで、この方は是非当会で活動して欲しいという方がいましたら、お誘いをお願いします!**

“新会員の  
仲間募集”

場所: 稲城市城山体験学習館 学習室 毎月第1日曜日 14時から運営会  
 入会申込先: NPO南山の自然を守り育てる会  
 事務局: 梁川(やながわ)携帯090-6658-7611  
 メールアドレス minamiyama@gmail.plala.or.jp

**会報記事  
提供のお願い**

普段、何かと忙しくて会活動にあまり参画できない!! でも少しは会に貢献したい!! そんな会員の方はおられませんか?  
 達の会報を皆さんの力でもっと充実させませんか? 何でも結構ですので、記事の提供をお待ちしています^^ 広報担当 坂本